

東北地方 1 か月予報

(1 1 月 1 6 日から 1 2 月 1 5 日までの天候見通し)

平成 2 5 年 1 1 月 1 5 日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

2 週目は、気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう 1 か月の天候>

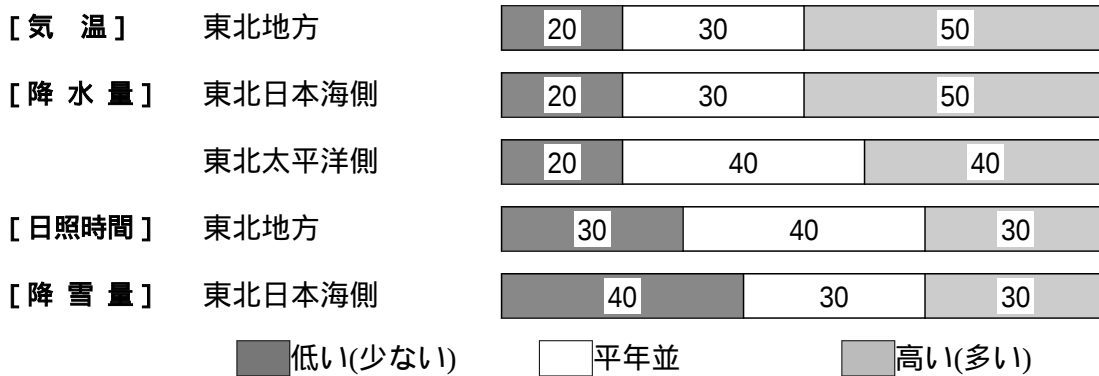
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

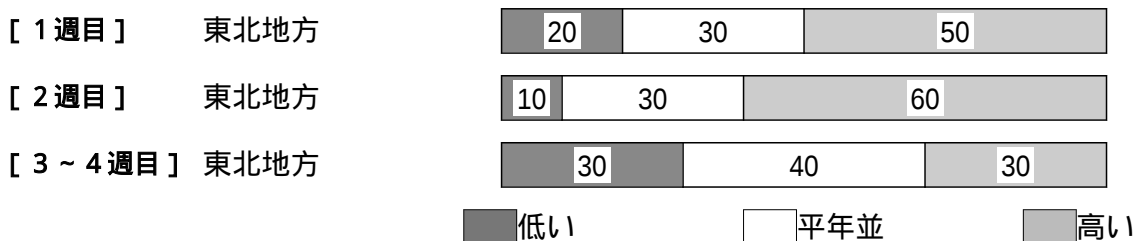
向こう 1 か月の平均気温は、高い確率 5 0 % です。降水量は、東北日本海側で多い確率 5 0 %、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。

週別の気温は、1 週目は、高い確率 5 0 % です。2 週目は、高い確率 6 0 % です。

<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



<気温経過の各階級の確率 (%) >



<予報の対象期間>

1 か月 : 1 1 月 1 6 日 (土) ~ 1 2 月 1 5 日 (日)
1 週目 : 1 1 月 1 6 日 (土) ~ 1 1 月 2 2 日 (金)
2 週目 : 1 1 月 2 3 日 (土) ~ 1 1 月 2 9 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 1 月 3 0 日 (土) ~ 1 2 月 1 3 日 (金)

<次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 2 2 日
3 か月予報 : 1 1 月 2 5 日 (月) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	3.8	139.9	63.6	86	5.9	4.6	2.7
深浦	4.7	139.3	43.3	32	6.8	5.5	3.7
むつ	3.6	107.6	80.6	52	5.6	4.4	2.5
八戸	4.0	51.8	123.0	17	6.0	4.7	3.0
秋田	5.1	170.5	57.8	32	7.0	5.8	4.1
盛岡	3.1	79.4	103.9	25	5.0	3.8	2.2
大船渡	5.7	72.3	128.9	0	7.4	6.3	4.8
宮古	5.2	64.0	144.2	0	7.0	5.8	4.3
仙台	6.7	48.1	133.8	0	8.5	7.3	5.8
石巻	5.7	49.7	142.6	0	7.6	6.4	4.8
山形	4.7	80.3	85.0	35	6.5	5.3	3.8
新庄	3.7	205.3	45.8	74	5.6	4.4	2.8
酒田	6.7	215.5	55.8	26	8.4	7.3	5.8
福島	6.5	51.6	122.0	8	8.3	7.1	5.6
若松	4.4	83.9	72.6	29	6.3	5.0	3.5
白河	5.2	54.7	145.9	5	6.9	5.8	4.3
小名浜	8.6	70.0	166.0	-	10.3	9.2	7.7

小名浜の降雪量の平年値はありません。なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1981 ～ 2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.6 ～ +0.5	81 ～ 103	96 ～ 106	49 ～ 106
東北日本海側	-0.6 ～ +0.5	93 ～ 111	93 ～ 106	60 ～ 111
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.5	62 ～ 105	96 ～ 105	37 ～ 96

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +0.8	-0.7 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.6
東北日本海側	-0.8 ～ +0.7	-0.8 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.8 ～ +0.8	-0.7 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.6

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ～ 2010 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（ それぞれ 33 ％ ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 ％以下や 60 ％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 30 ％、40 ％ ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

向こう1か月の天候の見通し

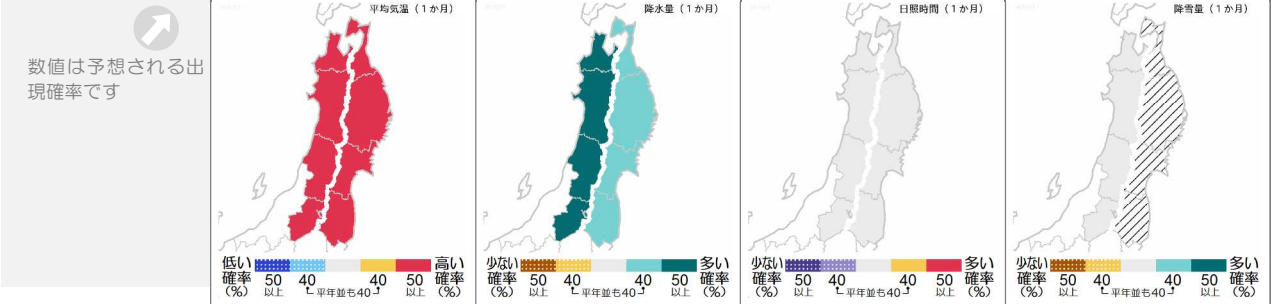
東北地方（11月16日～12月15日）

仙台管区気象台

予報のポイント

- 気温は高く、2 週目はかなり高くなる可能性があります。
- 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 低気圧によりまとまった降水となる日もあり、降水量は東北日本海側では多く、東北太平洋側では平年並か多い見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

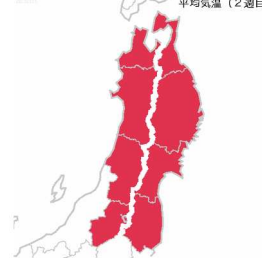
		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
東北	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 20 並 30 多 50% 多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報しません
 数値は予想される出現確率です		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
		低い確率 (%) 50 40 30 20 10 0 高い確率 (%) 50 40 30 20 10 0	少ない確率 (%) 50 40 30 20 10 0 多い確率 (%) 50 40 30 20 10 0	少ない確率 (%) 50 40 30 20 10 0 多い確率 (%) 50 40 30 20 10 0	少ない確率 (%) 50 40 30 20 10 0 多い確率 (%) 50 40 30 20 10 0

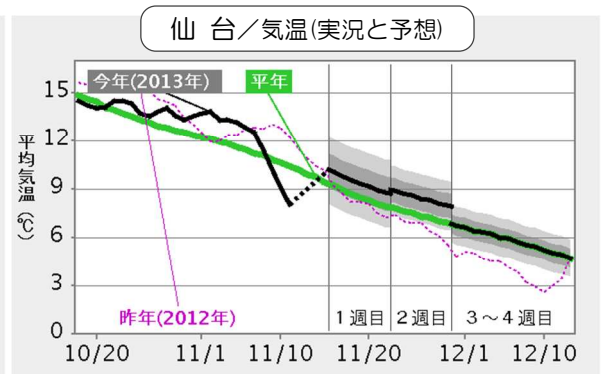
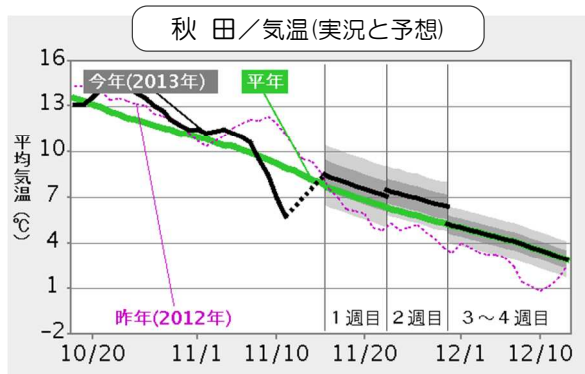
週別の天候

(1 週目) 11/16～22	(2 週目) 11/23～29	(3～4 週目) 11/30～12/13
東北日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多いですが、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日があるでしょう。東北太平洋側は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の中頃は気圧の谷の影響で曇りや雨となる見込みです。 気温は高い見込みです。 ※詳しくは、週間天気予報をご覧ください。	東北日本海側では、気圧の谷や寒気の影響で平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込みです。東北太平洋側では、気圧の谷の影響を受ける日もありますが、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。 低気圧によりまとまった降水となる日もあるでしょう。寒気の南下が弱く、暖かい空気が入るため気温は高い見込みです。	平年と同様に冬型の気圧配置となる日が多い見込みです。東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「確率予報の解説表」をご覧ください。

週別の平均気温

		平均気温（1 週目） 11/16～22	平均気温（2 週目） 11/23～29	平均気温（3～4 週目） 11/30～12/13
東北	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です		平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3～4 週目） 
		低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 平年並も 40%	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 平年並も 40%	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 平年並も 40%



ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcast/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。



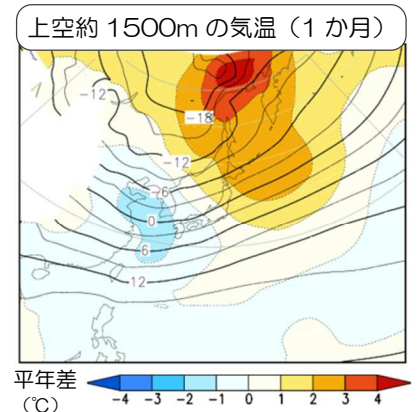
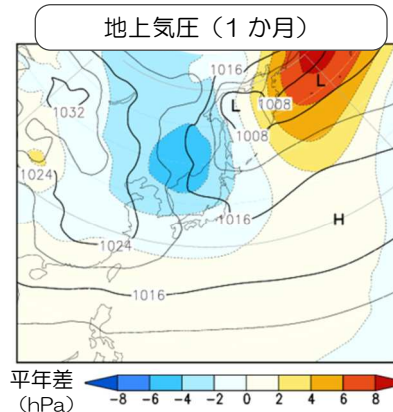
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

地上気圧は、日本海や関東沖に気圧の谷がみられ、沿海州付近を中心に日本付近は平年より気圧が低い予想で、東北地方は気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。

上空約 1500mの気温は、東北地方は平年より高く、暖かい空気が入りやすい見込みで寒気の南下は弱く、気温は高いでしょう。

東北地方は低気圧によりまとまった降水となる日もある見込みです。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上記の図）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

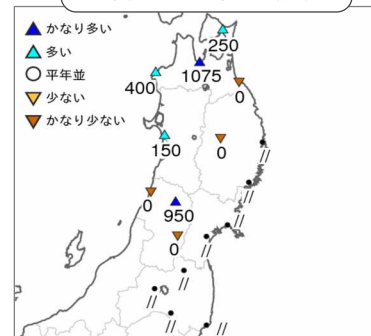
最近 1 週間の天候経過（実況）

11/8~14

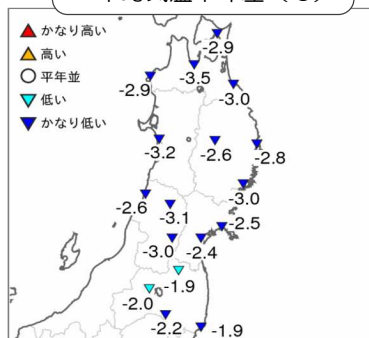
期間のはじめと終わりは高気圧に覆われましたが、期間の中頃に深い気圧の谷が通過し、その後冬型の気圧配置となり気温はかなり低くなりました。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、この時期としては降雪量がかかなり多くなりました。東北太平洋側では晴れの日が多くなりました。10日は前線が通過したため青森県、秋田県、岩手県、山形県で大雨となった所がありました。11日から12日にかけては強い冬型の気圧配置となり、各県で初雪を観測し、東北日本海側を中心に大雪となった所がありました。

平均気温はかなり低くなりました。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少なくなりました。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多くなりました。

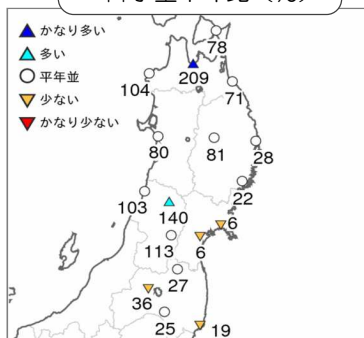
降雪量平年比（％）



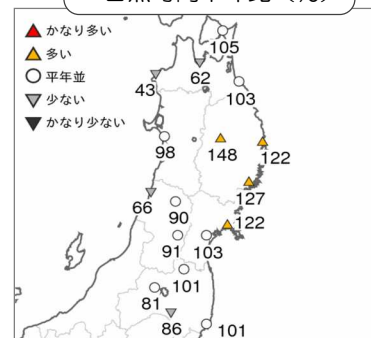
平均気温平年差（℃）



降水量平年比（％）



日照時間平年比（％）



(実況) 11/8~14	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比	降雪量平年比
東北地方	-2.7℃ (かなり低い)	68% (平年並)	97% (平年並)	314% (かなり多い)
東北日本海側	-2.9℃ (かなり低い)	112% (平年並)	76% (少ない)	429% (かなり多い)
東北太平洋側	-2.5℃ (かなり低い)	36% (少ない)	112% (多い)	83% (多い)
東北北部	-3.0℃ (かなり低い)	84% (平年並)	101% (平年並)	313% (かなり多い)
東南北部	-2.4℃ (かなり低い)	53% (平年並)	93% (平年並)	317% (かなり多い)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
東北地方	平年差：-0.6~+0.5℃	平年比：81~103%	平年比：96~106%	平年比：49~106%
東北日本海側	平年差：-0.6~+0.5℃	平年比：93~111%	平年比：93~106%	平年比：60~111%
東北太平洋側	平年差：-0.6~+0.5℃	平年比：62~105%	平年比：96~105%	平年比：37~96%
秋田	4.6~5.8℃	140.7~178.8mm	49.7~60.0 時間	17~32cm
仙台	6.3~7.5℃	21.9~47.0mm	118.1~133.6 時間	~2cm
	平均気温（1 週目）	平均気温（2 週目）	平均気温（3~4 週目）	
東北地方	平年差：-0.8~+0.8℃	平年差：-0.7~+0.7℃	平年差：-0.5~+0.6℃	
東北日本海側	平年差：-0.8~+0.7℃	平年差：-0.8~+0.7℃	平年差：-0.5~+0.6℃	
東北太平洋側	平年差：-0.8~+0.8℃	平年差：-0.7~+0.7℃	平年差：-0.5~+0.6℃	
秋田	6.3~7.9℃	5.0~6.6℃	3.5~4.8℃	
仙台	7.8~9.3℃	6.6~8.0℃	5.2~6.4℃	

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981~2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	5.6 日	18.0 日	1.8 日	4.2 日	1.6 日	4.3 日	2.2 日	9.5 日
仙台	16.5 日	5.0 日	4.2 日	1.4 日	4.4 日	1.3 日	8.1 日	2.2 日

「晴れ日数」は「日照率 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50% 以上	高い（多い）見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
（40：30：30）（30：40：30）（30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50% 以上	低い（少ない）見込み